

特定非営利活動法人 アジア・アフリカ研究所

2022 年度第 3 回理事会議事要録

日時：2022 年 10 月 1 日（土）13：00～14：30
（オンライン会議形式により開催）

理事総数 19 名
出席 13 名、委任状 3 名、欠席 3 名
監事（出席）

議事に先立ち、所理事及び長島理事を議事要録署名人として選任した。
また、2022 年度第 2 回理事会議事要録（案）と 第 16 回総会議事録（案）が承認された。

[審議事項]

I 雑誌編集について

重田編集長より第 62 巻第 4 号と第 63 巻第 1 号についての報告があり、承認された。

II 未回収金の現状報告は、次回の理事会です。

III 来年度の新事務局員については、次回の理事会で継続審議とする。

IV 研究会について

10 月 22 日（土曜）午後 3 時とし、今回も新型コロナの状況を考慮し、オンラインにて開催されることが承認された。

報告者：知足章宏（フェリス女学院大学）

発表テーマ：中国における環境汚染と環境 NGO — 「向汚染宣戦」と環境ガバナンス—

その他

藤田監事より、ミネルヴァ書房からの「グローバル・サウス」第 2 巻と第 3 巻の寄付金について説明がなされた。

以上の議事の内容と決議の結果を明確にするために、議長ならびに議事録署名人は次に署名捺印する。

| | |
|--------|-------|
| 議長 | 中野 洋一 |
| 議事録署名人 | 所 康弘 |
| 議事録署名人 | 長島 怜央 |

2022 年度第 4 回理事会議事要録

日時：2022 年 11 月 19 日（土）10：00～11：45

(オンライン会議形式により開催)

理事総数 19 名
出席 10 名、委任状 8 名、欠席 1 名
監事 (出席)

議事に先立ち、平井理事及び藤本理事を議事要録署名人として選任した。
また、前回理事会議事要録 (案) が承認された。

[審議事項]

I 新入会員について

新入会員 1 名が紹介され承認された。

II 雑誌編集について

1. 第 62 巻第 4 号についての報告があり、11 月末発行予定であることが確認された。
2. 第 63 巻第 1 号、第 63 巻第 2 号、第 63 巻 3 号についての報告があり、種々議論し、ラインナップが確認され、承認された。

3. 執筆要領の改定について

『アジア・アフリカ研究』の執筆要領に、文字のフォントやサイズを具体的に明記することを追加し、今後執筆者の方にお渡しする旨の提案があり、種々議論し、承認された。

III 未回収金及び出版寄付について

1. 長期滞納者と滞納額が報告され、その対策について議論された。滞納者に対しては、各理事より継続的な声かけが行われることが確認された。

2. 出版寄付について

アジア・アフリカ研究所の出版事業 (出版社: ミネルヴァ書房) において発生した執筆者の印税が、出版寄付として振り込まれたことが報告された。

IV 事務局担当交代について

事務局担当が 2022 年度末に交代する予定の為、候補者が紹介されお願いする方向で進めることが確認された。

V 次回研究会について

12~1 月予定の研究会 (オンライン予定) と 2~3 月予定の研究会 (対面も視野に検討) についてそれぞれの報告者については調整中であることが報告され、承認された。

VI 次回理事会について

次回第 5 回理事会は 12 月に開催予定の研究会の日程と合わせて調整され、後日詳細がメールでお知らせすることが確認された。

以上の議事の内容と決議の結果を明確にするために、議長ならびに議事録署名人は次に署名捺印する。

議 長 中野 洋一
議事録署名人 平井 文子
議事録署名人 藤本 博

2022 年度第 5 回理事会議事要録

日時：2023 年 3 月 4 日（土）13：00～14：15

（オンライン会議形式により開催）

理事総数 19 名

出席 10 名、委任状 6 名、欠席 3 名

監事（出席）

先立ち、太田理事及び大津理事を議事要録署名人として選任した。

また、前回理事会議事要録（案）が承認された。

〔審議事項〕

I 新入退会員について

新入会員 1 名が紹介され、承認された。

また、田巻松雄理事の理事退任と退会の意志があることが紹介され、退任と退会が承認された。

II 事務局担当交代について

事務局担当の後任を W 会員にお願いすることと理事の就任をお願いすることが承認された。風間理事は当面は理事を継続することが確認された。

III 雑誌編集について

1. 第 63 巻第 1 号についての報告があり、3 月 13 日発送予定であることが確認された。

2. 第 63 巻第 2 号、第 63 巻第 3 号、第 63 巻 4 号についての報告があり、種々議論し、ラインナップが確認され、承認された。

3. 投稿論文について

「コロナ禍の日本とフィリピンの社会関係資本について」 Social Capital Transformation with Corona in the cases of Japan and Philippines :were we divided? は、重大な問題点があり「掲載不可」E 判定とした。

IV 長期未納金の扱いについて

長期未納金を損金処理を念頭に精査することが確認された。

V 今後の理事会・総会・研究会について

次回の 2023 年度第 1 回理事会は 5 月 13 日に開催されることが確認された。また、総会と研究会の日程は 5 月末から 6 月にかけての期間で日程調整されることも確認された。

以上の議事の内容と決議の結果を明確にするために、議長ならびに議事録署名人は次に署名捺印する。

| | |
|--------|-------|
| 議長 | 中野 洋一 |
| 議事録署名人 | 太田 和宏 |
| 議事録署名人 | 大津 健登 |

2023年度第1回理事会議事要録

日時：2023年5月13日（土）13：00～15：30
（オンライン会議形式により開催）

理事総数 18名、
出席 10名、委任状 7名、欠席 1名
監事（監事）、オブザーバー 1名

議事に先立ち、河合理事及び岡野内理事を議事要録署名人として選任した。
また、前回理事会議事要録（案）も承認された。

[審議事項]

I. 入会および退会について

新入会員 1名と退会会員 1名が紹介され、承認された。

II. 雑誌編集について

1. 63巻第2号の記載内容及び発送日程が報告され、承認された。
2. 63巻第3号の執筆者及び編集動向が報告され、承認された。
3. 63巻第4号の編集予定が報告され、承認された。
4. 64巻第1号の編集予定が報告され、承認された。

III. 研究会について

以下のことが議論され、承認された

1. 6月10日の研究会について

題名案「マルコス家の復権に見るフィリピンの行方」

時間：15時00分～

会議形式：オンラインで実施

報告者（予定）：福島理事、太田理事、山根会員

2. 総会（6月24日）後の研究会について

題名案「いま、なぜグローバル・サウスなのか」

討論会を対面で実施。

総会後にグローバル・サウスを巡る言論空間について討論会を実施することが提起された。

討論者（予定）：河合理事、藤田監事、松下理事、山中理事

また、総会後の懇親会で、藤本理事司会のもとでベトナムやその他について議論を行うこととなった。

IV. 2023年度の総会準備について

1. 総会資料について

中野代表理事より、2022年度活動計算書（案）、貸借対照表（案）、財産目録（案）について、また2022年度事業活動報告（案）、2023年度事業計画（案）についても説明がなされ、議論した。

2. 新年度予算について

① 『アジア・アフリカ研究』 ページ数の管理について

重田理事よりコスト管理の観点から、総ページ数で80ページを目途に編集作業を行いたいという提案がなされた。

② 間接費削減について

中野代表理事より短期的な削減策として、印刷費を削減しつつ固定電話を撤去し、また長期的には事務所撤退や季刊誌の倉庫保管などで経費削減を考えていきたいという問題提起があった。これに対して共同研究に応募して奨励金を獲得したり、出版も考えたいという意見や現事務所をどこかの団体と半分ずつシェアすることや会費と組織のあり方を再検討などについて意見があった。

以上の議論があった後、2023年度総会に提出される2022年度の事業活動報告（案）、貸借対照表（案）、活動計算書（案）、財産目録（案）および2023年度事業計画（案）について承認した。

V その他

中野代表理事より投稿論文について重大な問題点があり、投稿掲載を断った経緯について報告があった。

以上の議事の内容と決議の結果を明確にするために、議長ならびに議事録署名人は次に署名捺印する。

議 長 中野 洋一
議事録署名人 岡野内 正
議事録署名人 河合 恒生